

氏名	森 禮 子
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 950 号
学位授与の日付	昭和53年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	頭部傾斜による両眼の反対回旋に関する研究 第1報：正常者における両眼の動的反対回旋の協調性について 第2報：正常者における両眼の反対回旋について 第3報：正常者における2，3の条件下における成績および臨床例における研究
論文審査委員	教授 西田 勇 教授 中山 沃 教授 小倉義郎

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

著者は、頭部傾斜によっておこる反対回旋を研究する目的で静的および動的反対回旋を両眼同時に測定でき、かつ臨床的に使用できる装置と方法を考案し実験を行った。

坐位にて、頭部のみ  $6^\circ/\text{sec}$  および  $0.6^\circ/\text{sec}$  で側方へ  $30^\circ$  まで傾け、一定間隔でモータードライブで撮影した。

正常者における静的反対回旋の平均値は  $6.18^\circ$  で、左右眼の差は  $0.4^\circ$  以内であった。動的反対回旋の波形には一定の特徴的なパターンが認められた。両眼の協調性は常に良好であり、データの再現性もかなり良好であった。

頭部傾斜を  $30^\circ$  に保ったときの反対回旋の経時的変動を50秒間記録したところ、反対回旋はほぼ一定に保たれていることが判った。また波形の分析から耳石器官由来の回旋性眼振の存在の可能性を示した。

眼球の垂直筋群に imbalance のあるときには動的反対回旋の協調性が乱れることを示し、この装置が臨床的に活用できることを示した。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、頭部傾斜によっておこる眼の反対回旋につき、従来主として片眼を対象とした研究のみであったが、独得の装置と方法を考案して両眼の反対回旋につき研究し重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。